



2023年度 グリフィンズ便り 11/12 VS 早稲田戦

《法政戦・戦績》

	1Q	2Q	3Q	4Q	計
法政大学	7	0	7	0	14
明治大学	0	6	0	0	6

1Q法政に先制されるも、2Q #21・高橋ロングランから#39廣長のダイブにて1TD。しかし、この後の2PTコンバージョンは失敗。準備してきたと思われるプレイだったが、ボールは#9守屋の手中には収まらなかった。ディフェンスの踏ん張りは見事だったものの、オフェンスの完成度には課題が残る結果になった

早稲田戦・みどころ

前節中央戦では、36-0圧倒的なチカラを見せつけた早稲田。前々節、立教大学戦では不運にも審判の判断に泣き、負けを喫し、尻に火が付いたのか…。早稲田にとって甲子園ボウルに進むには、明治に勝つことが大前提となるため、総力を上げて勢いとともに挑んでくるのは言わずもがな。

オフェンスは前節、Q#15新楽が復帰したものの、試合勘が戻っていなかったのは否めない結果となった。今節は#21高橋、#39廣長のランプレイを基軸に、レシーバー陣へのパスが通れば、勝機が訪れると思われる。

TOP8トップクラスのディフェンス陣は、前節#99今熊が徹底的にマークされていたものの、法政の得点を2TDと抑えた。早稲田オフェンスは、エースQB國元が復帰し、ロングパスを決めていた。八木とのローテーションをどう組んで挑んでくるか……。しかし明治ディフェンス陣は恐れることなく、圧をかけることで仕留めることは可能だろう。ただRB花宮をはじめとするバックス陣にするすると進まれることだけは避けたい。

去年は、インターセプトから攻撃権を奪い、残り3秒までドライブしたものの27対14で敗北。(立教戦も……)監督、コーチ陣のプレイコール、タイムコントロールが勝負を分けることになるだろう。

FINISH IT !

11月12日(日) 14:00

横浜スタジアム

Kick Off

発行責任者：会長 大澤もとみ 編集：中野真貴子 (22年卒)

個人記録 2023年10月30日(月)確定

法政大学					
ラン	回数	ヤード	TD	最長	
#31 廣瀬 太洋 (3)	9	81	1	26	
#4 谷口 雄仁 (3)	3	23	0	10	
#29 小松 桜河 (2)	3	16	0	14	
#28 鈴木 悠真 (3)	8	9	0	8	
#7 新井 優太 (4)	9	4	0	4	
#11 高津佐 隼世 (2)	1	2	0	2	
合計	33	135	1	26	
パス					
	試投	成功	INT	ヤード	TD
#4 谷口 雄仁 (3)	20	11	2	161	1
合計	20	11	2	161	1
レシーブ					
	回数	ヤード	TD	最長	
#11 高津佐 隼世 (2)	4	95	1	62	
#81 阿部 賢利 (1)	2	21	0	16	
#1 白井 圭 (4)	1	16	0	16	
#7 新井 優太 (4)	1	9	0	9	
#28 鈴木 悠真 (3)	1	7	0	7	
#6 東谷 純希 (4)	1	7	0	7	
#18 須加 泰成 (2)	1	6	0	6	
合計	11	161	1	62	

明治大学					
ラン	回数	ヤード	TD	最長	
#21 高橋 周平 (2)	9	91	0	72	
#39 廣長 晃太郎 (3)	14	68	1	11	
#15 新楽 圭冬 (2)	3	-9	0	4	
合計	26	150	1	72	
パス					
	試投	成功	INT	ヤード	TD
#15 新楽 圭冬 (2)	15	8	3	56	0
#8 柏崎 偉太 (4)	2	0	1	0	0
合計	17	8	4	56	0
レシーブ					
	回数	ヤード	TD	最長	
#89 金子 航大 (2)	2	23	0	14	
#80 五十嵐 洗毅 (2)	2	19	0	15	
#11 加藤 大明 (3)	1	8	0	8	
#1 桑村 登 (2)	1	4	0	4	
#10 山口 翔 (4)	1	2	0	2	
#41 廣江 史彦 (3)	1	0	0	0	
合計	8	56	0	15	